

「東大和市公共施設再配置計画（素案）」 に対するパブリックコメントの結果について

「東大和市公共施設再配置計画（素案）」について、パブリックコメントを実施したところ、次のとおりの結果となりました。

1 提出した市民等の人数及び提出された意見の数

22人 64件

2 意見の提出期間

令和8年1月8日（木）から令和8年2月6日（金）まで

3 提出された意見の内容及び意見に対する市の考え方

別紙のとおり。

※いただいたご意見の内容は、原則原文のまま掲載しておりますが、一部誤植と思われる箇所を修正している場合があります。

パブリックコメントで提出された意見の内容及び市の考え方について

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
1	1	<p>公民館運営審議会に携わった立場から、多世代が「みんなの学校」をより魅力的にするために社会教育の視点で述べます。「現在の公民館利用者（サークル団体等）を大切にしながら、「みんなの学校」という新しい器に少しずつ『多世代の交流』という付加価値を足していくことが必要と考えます。</p> <p>-----</p> <p>多世代が集う「みんなの学校」の機能確保に向けた実務的提言</p> <p>1. 「予約のしやすさ」と「利用環境」の維持（利便性の確保）</p> <p>公民館という明確なハードがなくなることへの最大の不安は、貸館機能の低下です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用予約システムの継続: 学校施設になっても、従来の公民館と同様の使い勝手を維持するため、市民が直接、簡便に予約できる従来のシステム運用を確保する。 ・活動スペースの質: 音楽、軽運動、工芸など、現在のサークル活動を継続できる、学校内の多目的スペースに最低限必要な設備（Wi-Fi、防音、床材、収納等）を確保する。 <p>2. 「学び」を地域へつなぐ、緩やかなきっかけづくり（機能の接続）</p> <p>場所貸しだけでなく、個人の学びを自然に地域に還元させる仕組みをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果発表の場の提供: 趣味の講座やサークルの成果を、学校行事や地域イベントと連携して展示・発表できる「発 	<p>素案では「学校を中心として、周辺機能をすべて集約し、多世代交流等の地域拠点として整備する」ことを検討しております。ハード面で、単体の建物はなくなる施設も出てきますが、機能は残し、集約し、より便利で魅力的なものとすることを目指しております。</p> <p>施設運営等に関するご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>表用ギャラリー」を「みんなの学校」校内に設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の一元化: 「学びたい人」と「教えたい人」をつなぐ従来の人材バンク等の情報を、「みんなの学校」という拠点を活用して全世代に広げる。 <p>3. 多世代が「共存」するための、現実的な運用ルール（安心の設計）</p> <p>学校教育と社会教育の摩擦を避けるための、現場レベルの調整機能を重視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独立した動線と運営: 学校の授業を妨げず、かつ市民が気兼ねなく利用できるよう、入口、トイレ、空調を分けた「市民専用エリア」として運用する。 ・管理体制の明確化: トラブルを避けるため、学校管理職ではなく「地域連携担当者」や「施設管理員」を配置し、市民の窓口を一本化する。 <p>4. 施設の「空白地」を埋めるアウトリーチの強化（機会の公平）</p> <p>拠点が学校に集約されることで生じる「遠さ」を、ソフトの力で補う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の定期化: 施設まで来られない高齢者や子育て世代のために、地域の集会場や地区館機能を活用した「移動公民館事業」を強化する。 ・デジタル支援の併用: 他市の「デジタルデバイド対策」を参考に、施設に来られなくても学びを継続できる IT リテラシー教育を重視する。 <p>5. 「社会教育」の専門性を維持する仕組み（専門性の担保）</p> <p>統合による専門知識の散逸を防ぎ、組織の質を保つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有資格者の継続配置: 社会教育主事 	

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>等の有資格者を現場に近い位置に配置し、市民活動への専門的な助言機能を持たせる。</p> <p>・市民ニーズの継続聴取：公民館運営審議会の機能を継承し、計画の進捗に合わせて市民の声を定期的に吸い上げ、運用の軌道修正を行う仕組みを維持する。</p>	
2	1	<p>1.再配置のコンセプトについて</p> <p>「学び」については、学校教育と社会教育(地縁コミュニティ希薄化崩壊対策など)の二つの視点が必要。「集い」については、平時の場合に加え、非常時の視点(無電柱化など)を加えるべき。</p>	<p>素案では、みんなの学校における「地域、家庭、学校の連携による学びの充実」などをお示したところであり、学校教育と社会教育の双方の視点で検討しております。</p> <p>また、「みんなの学校」が地域の避難所等としての役割を果たせるよう、防災機能等の視点も踏まえて検討を進めてまいります。</p>
2	2	<p>2.市役所周辺については、建物デザインとして、バリアフリー化、インフラの小規模自律分散化、避難所併設、再エネ対策(ペロブスカイト採用)などを最初から想定しておく。現在、現業棟で行われている「ホテルの養殖」などの貴重な事業は継続発展させる必要がある。これは、失われた過去を未来に復活させる為の大事な事業。</p>	<p>市庁舎東側における「健康・福祉・子育て支援の新たな拠点施設」の整備に当たっては、バリアフリー化、環境・エネルギー対策などの視点を踏まえて検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
3	1	<p>市の素案では中学校を3校としていますが、新青梅街道による南北の分断を考慮し、北側に2校(一中・五中)、南側に2校(二中・三中)の計4校体制にしていかがでしょうか。</p> <p>3校へ削減した場合、特定の地域で通学距離が極端に伸びるだけでなく、交通量の多い新青梅街道を横断せざるを得ない生徒が増加し、安全性と公平性に欠ける懸念があります。地域コミュ</p>	<p>素案では、小・中学校ともに、原則、新青梅街道を横断しない通学区域を想定しております。また、現時点においては、小・中学校の「義務教育学校」としての一体化は検討しておりません。</p> <p>小・中学校への通学手段の考え方等につきましては、安全対策等を考慮しながら、今後整理してまいります。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>ニティの維持という観点からも、一中、二中、三中、五中の4拠点での運営も検討してください。</p> <p>また、一中、二中、三中は隣接して小学校がある事を活かし「義務教育学校」としての全面建替えを行うのはどうでしょうか。</p> <p>学校再配置に伴い通学距離が伸びる地域には、自転車通学の認可やスクールバスの運行など、不公平が生じない柔軟な支援策をあわせて提示してください。特に新青梅街道を横断するポイントには、歩道橋の設置及びバリアフリー化や交通指導員の重点配置など、保護者が安心できる具体的な安全対策を求めます。</p> <p>小学校については三小、八小、九小はみんなの学校に。一小は一中、二小は二中、六小は三中、九小は五中に義務教育学校として建替え。四小、五小、七小、十小は単独校として大規模改修または建替えというのが良さそうに感じました。</p>	
4	1	<p>五中が一中に統合される計画とのことです。学区はどのようになりますか？現在の住所（芋窪5丁目）からだと一中は遠すぎます。四中の方がはるかに近いので選べるようにして頂きたいです。</p> <p>また、現在七小に息子が通っておりますが、トイレが頻繁に故障して困っているようです。近々新しい校舎になるということで我慢していましたが、まだまだかかりそうなので取り敢えず水</p>	<p>素案では、第一中学校の学区と第五中学校の学区を統合することを想定しておりますが、通学距離や安全対策等を考慮しながら、今後、学区の考え方について整理してまいります。</p> <p>なお、各学校の修繕につきましては、今後も適切に対応してまいります。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		回りだけでも早急に新しくして頂けないでしょうか。	
5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・大変漠然としていて、わかりにくい。疑問が幾つも湧いてきます。 ・中央公民館や地域の公民館はなくなるの？ 	<p>中央公民館は、建物の老朽化が著しいため、まずは建物を解体することを検討しております。現行の諸室等の機能の移転については、今後検討してまいります。</p> <p>地区公民館は、40年の計画期間の中で段階的に建物を廃止し、学校施設に集約することを検討しております。</p>
5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの学校というコンセプトだが、児童生徒が使う学校に、公民館のようなものを併設するのかどうか？そうなった時、どの様な使い方をするのか？児童生徒の学習に影響は出ないのか？ 	<p>学校施設とその他公共施設（公民館、市民センター、児童館等）の機能を同じ建物の中に併設することを想定しております。学校運営時間は、他の公共施設利用者が学校内に入らないよう動線を分けるなど、児童・生徒の学習に影響が生じないように整備することを想定しております。</p>
5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校を統廃合するわけだが、今後の各学校の児童生徒数の推移の予想はあるのか？ 	<p>素案は、児童・生徒数の推計を踏まえて作成しております。今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、児童・生徒数の推計等もお示ししたいと考えております。</p>
5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合した後、一番遠くなる児童生徒の通学距離、最大徒歩時間の予想等、現在の学区との比較データが欲しい。 	<p>現在も再配置後も、最大の通学距離は約2.5kmであり、徒歩で30分程度を想定しております。特段、現時点で比較データはございませんが、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、通学距離等もお示ししたいと考えております。</p>
5	5	<p>結論</p> <p>一度、市民を対象に、今回の再配備計画（素案）の説明会を開くべきだと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>今回のパブリックコメントは、市報等で市民に公表してください。</p>	<p>素案についての説明会は予定しておりませんが、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、市民の皆様からご意見をいただく機会を設けることを予定しております。また、パブリックコメントについては、いただいたご意</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
			見とそのご意見に対する市の考え方を市公式ホームページで公表いたします。
6	1	<p>今回の計画は、突然市報に掲載され、しかも内容がイメージだけでよくわからず、知りたい人はQRコードから入って調べるといのは、そのそもそも市民にきちんと説明し、理解を求める考えが全くないと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校を10校から7校ないし6校にする ・公民館等も学校を中心に集約する <p>とても驚きました。この酷暑が続く中、子供たちを、遠距離通学させる、地域の輪ができにくい。</p> <p>自宅の近くの公民館で活用する市民が多く、それで心身共に健康でいられるのに、遠くなり数も少なくなる？のでは。・・・不安ばかりの計画を、形式的なパブリックコメントで終わらせるのではなく、きちんと丁寧な説明会を、早急に開いてほしいと思います。</p> <p>東大和市が住みにくい、子供にも高齢者にも、障害者にも暮らしにくい街になるのでは・・・今のままでは反対です。</p>	<p>素案は、今後の人口減少等を見据え、限られた財源の中で市民の皆様がより便利で魅力的に公共施設をご利用いただけるよう、今後の公共施設の基本的な考え方などをお示しするものであり、より多くの市民の皆様にご覧いただけるよう、全戸配布している市報にてお知らせしたところであります。</p> <p>なお、素案についての説明会は予定しておりませんが、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、市民の皆様からご意見をいただく機会を設けることを予定しております。</p>
7	1	<p>子ども家庭支援センター、保健センター、子育て支援施設、教育関係等を統合した建物が新設されることは大変良いと思います。ぜひほっとくつろげるカフェスペースも検討いただきたいです。</p>	<p>市庁舎東側における「健康・福祉・子育て支援の新たな拠点施設」の整備に当たっては、交流や滞在性などの視点を加味しながら、市民の皆様が集える場所となるよう検討してまいります。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		子育てしやすい街にふさわしい木のぬくもりのある優しい建物になることを期待します。	
8	1	建設第一期～第四期とステップ1～ステップ5の具体的な関係性を想定でもいいので示していただきたいです。素案はこういったものなのかもしれませんが、上記も含めて、全体的に具体的な時期についての記載が少ないため、今後はそういった情報も欲しいと思いました。温水プールは中央公民館の跡地に建設を検討するというのでしょうか。	<p>素案では、市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本的な進め方や概略的な流れをお示ししたところであり、各施設の整備の時期等については、今後検討してまいります。今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、整備時期等についてもお示ししたいと考えております。</p> <p>また、屋内温水プールの整備場所につきましても、現時点では未定であり、今後検討してまいります。</p>
9	1	<p>人口減少、厳しい財政状況から公共施設再配置計画について理解しました。”学校を軸として周辺の公共施設を複合化し「みんなの学校」を整備することで必要な機能を充実・集約して「学び」と「集い」の魅力アップを図る。”この提案について、いままで「社会教育」の場としてまた大災害等の緊急避難場所として公民館は大きな役割を果たしてきました。今回の提案の中に「学び」「集い」は明示されていますが、この公民館の社会教育機能としての[集う・学ぶ・結ぶ]が充実されんことを切望します。社会教育の最低基準として、年間市民講座の企画、実施。市民自主学習の場。地域団体等の集会等利用しやすい施設とすることが望ましい。</p> <p>また、公民館機能が不全となる理由として行政コストと利用者の見えにくさにあると思われる。利用料の問題、利用予約、学習室の環境等市民が利用しやすい管理体制が必要である。そのた</p>	<p>素案では、みんなの学校における「地域、家庭、学校の連携による学びの充実」などをお示ししたところであり、学校教育と社会教育の双方の視点で検討しております。</p> <p>施設運営等に関するご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>めには、チェック機能及び利用状況の分析等公民館運営審議会、利用者懇談会などの評価、改善提案が出来る体制を望みます。</p>	
10	1	<p>学校統廃合計画に関しての見解と意見 素案の学校統廃合は、主に行財政の効率化の視点から考えられており、教育的な視点から考えられているとは言えません。財政の効率化や国の補助金欲しさから子ども達を犠牲にしようとしていると言わざるを得ません。 通学の安全や時間の長さ・距離・家庭学習・習い事など大きな負担となる子どもが出てくることは明白でしょう。 しかも学校統廃合は、父母と子ども達と地域・市民に大きく関わってきます。関係者の同意形成にかなり時間を必要とするものです。 少なくともすべての市内の児童・生徒の保護者に問うべきです。 また「12～18 学級が適正規模である」というとき、35 人学級で計算されているものと思いますが、素案は 40 年後を見据えた計画なのに、21 世紀の後半まで 35 人学級を続けるつもりなのだろうかと素案の貧しい教育的見地が見て取れます。 WHO（世界保健機関）は、世界各地から「学校規模と教育効果」について研究した論文を集めて多面的に分析し、その結果をまとめとして発表しています。 WHO の学校規模についての結論は以下の通りです。 ① 近年、子どもの教育機関を組織する際に従うべき原則に関して、有識者</p>	<p>厳しい財政状況に加え、昨今の物価高騰や労務単価の上昇等により、今後、既存の全ての公共施設を更新していくことは困難です。また、人口減少や少子高齢化の加速により、施設の役割や機能等についても見直す必要があります。 そこで、素案では、学校を軸として周辺の公共施設を複合化することで、地域コミュニティの拠点となる、多世代が集える施設「みんなの学校」を整備する方針としております。公共施設を、時代の変化に即し、市民の皆様にとってより便利で魅力的な施設とするべく、検討を進めていきたいと考えております。今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、より詳細な資料等をお示しするとともに、市民の皆様からご意見をいただく機会を設けることを予定しております。 みんなの学校へのアクセスの考え方等につきましては、まちづくり関連計画等との整合を図りながら、今後整理してまいります。また、みんなの学校は、地域の避難所等としての機能を果たせるよう、防災機能等の視点も踏まえて検討を進めてまいります。 学校運営等に関するご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>による実に多くの著書および報告書が発表されているので、ここで改めて議論する必要はあるまい。</p> <p>② それらはすべて、大規模な機関において回避することができない規則及び規制を回避するためには、教育機関は小さくなくてはならない—カーティス報告が提案した生徒100人を上回らない規模—という点で意見が一致している。</p> <p>③ 非人格的な規則ではなく、人間的な関係に基づいたインフォーマルで個性的な教育は、こうした条件のもとで初めて可能になる。</p> <p>WHO（世界保健機関）は、生徒数が100人を上回らない学校規模を勧告して2013年に自殺問題・いじめ問題・落ちこぼれ問題・不登校問題が著しい日本に改善を求めています。</p> <p>小さい学校・小さい学級は、学ぶ子どもにとって歓迎すべきことです。</p> <p>30人学級を早急に実現し、教員を増やすためにOECD諸国で最低の教育予算を増やすべきです。</p> <p>友人によると</p> <p>「15年ほど前に当時学力テストで世界一となったフィンランドの小学校を見学に行ったことがあります。3年生の算数の授業を見学させていただきました。</p> <p>1クラス22人で授業が行われていて、教科によっては更に2つのクラスに分かれて授業を進めるという事で、日本の教育事情と比べ、はるかにゆったりした感じを受けました。子ども達も楽しそうに落ち着いて学習していまし</p>	

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>た。</p> <p>また生活指導や給食指導に関わることは、専門の職員が配置されていて、教員は授業の準備をして授業をするということだけに専念できるようになっていました。</p> <p>そしてフィンランドでは、教員は就きたい職業の上位に位置付けられている人気の高い職業ということでした。」</p> <p>日本では現在、教員の希望者が激減して、せっかく教員になっても精神疾患等で休職する人が急増し、教員の欠員が解消されないままの学校が増えています。</p> <p>この事実を目を向けたなら、そもそも国の教育行政が間違った方向に進んでいるのではないかと冷静に考えてみる必要があるのではないのでしょうか。少なくとも学校の大規模化は子どもにとって悪影響を及ぼすと思われます。</p> <p>素案には、統廃合により『地域の拠点「みんなの学校」を整備する』と書かれていますが、廃校になる地域にとっては、地域の拠点「みんなの学校」がなくなることであり、学校を中心とした地域活動が失われ、地域コミュニティの一体感が薄れる可能性があります。</p> <p>慶応大学田邊勝巳研究会が、小学校統廃合の影響について次のようにまとめています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校を統廃合した場合、統廃合が無かった場合に比べて、その小学校から半径1kmの地域では、2000年～2015年の15年間で、人口が18.4%減少している。 	

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>・小学校の廃校は長期にわたって人口流出の影響を及ぼすことがわかる。</p> <p>・小学校の廃校で、主に子育て世帯などの総が転入しなくなると考えられる。</p> <p>この調査が本市にどの程度当てはまるかは不明ながら、地域の拠点として存在した学校がなくなることの負の影響は大きいと思われます。</p> <p>素案では「全公共施設の集約・統廃合による先駆的な再配置で未来を切り開く！」と謳っていますが、どの場所のどんな施設がなくなるのか一目瞭然で把握できる地図資料を提示して欲しいと思います。それによっては「再配置で施設が遠くなって不便になる」という地区が生まれる心配が出てきます。</p> <p>首都直下型地震、南海トラフ地震が心配される昨今、学校はいざという時の避難場所でもあります。危機管理の面からも地域の学校を減らすことは市民の安全に責任ある施策とは言えません。</p> <p>新型コロナウイルスの感染が拡大した時、保健所の数を減らしていたため感染者に対応できない状況が生じた自治体がありました。この教訓は肝に銘じておくべきです。</p>	
11	1	<p>素案「公共施設再配置計画」について意見</p> <p>・「みんなの学校」的な取り組みは、学校に施設を集約しなくても、できることではないですか。地域・家庭・学校</p>	<p>厳しい財政状況に加え、昨今の物価高騰や労務単価の上昇等により、今後、既存の全ての公共施設を更新していくことは困難です。また、人口減少や少子高齢化の加速により、施設の役割や機能等についても見直す必要がありま</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>の連携で、より豊かな学びができるということは確かです。それには教育課程に時間的にも内容にも弾力的で余裕があって可能になると思います。そうあってほしいと思うのは多くの方が望むことだと思います。</p>	<p>す。</p> <p>そこで、素案では、学校を軸として周辺の公共施設を複合化することで、地域コミュニティの拠点となる、多世代が集える施設「みんなの学校」を整備する方針としております。</p> <p>いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
11	2	<p>・公共施設は地域の利用者・市民の必要性・利便性に合わせて市民センターのような再配置を考えればいいのではないですか。素案によれば、全部学校に集中させて、日中・放課後・夜間に学校・学童・地域市民にと利用者になっていくように計画していますが、市民の利用者は夜間だけしか利用できません。学校は夜間の使用を考慮して日中の活動が制約されかねません。学校の建設も多目的な使用を考慮した複雑な設計・建設になり費用も増加するのではないですか。</p>	<p>みんなの学校は、学校に集約する施設においても、必要な諸室を想定しております。それに加えて学校教育活動で使用しない時間帯の学校の諸室についても、市民の皆様に活用していただけるようにすることで、より便利で魅力的な施設としていきたいと考えております。</p>
11	3	<p>・施設面で望むことは統廃合ではなく、現在の施設の改修工事を計画的集中的に行い安全・安心を基本に、快適な施設にすることではないですか。学校施設に望むこと、その第一は安全。それについては東日本大震災後の耐震化工事で15校ともに済んでいてまあ安全。壁や天井など、経年劣化による危険個所が細かい部分までよく見れば、学校にはたくさんあります。第二は安心。温暖化のために猛暑による熱中症などになる心配は、教室と体育館のエアコン設置によって、加えて暖房もあり心配はなくなり安心。第三は、快適さはといえば、トイレや水道の設</p>	<p>厳しい財政状況に加え、昨今の物価高騰や労務単価の上昇等により、今後、既存の全ての公共施設を更新していくことは困難であります。そのような状況下においても、今後の人口減少や時代の変化等に対応するため、素案において、「学校を中心として、周辺機能をすべて集約し、多世代交流等の地域拠点として整備する」ことなどをお示したところであります。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		備が古くなり、または構造上の限界といわれているが、においなど、衛生上の問題が残っています。	
11	4	<p>・今度の素案でも適正規模・適正配置を統廃合の根拠にしていますが、現在および今後の児童・生徒数、学級数の推定を市民に示すべきではないですか。令和2年以前に策定した「小中学校再編計画」の時の、児童・生徒の推定数・推定学級数は、小学校の35人学級が順次小学校6年生まで進んできたので、推定する基準の変化に従って、推定をし直さなければならなかったのではないですか。実際、令和7年度に至って、児童数が減少すると推定されていた第3小学校と第9小学校は、それぞれ約30名・40名の増加になっています。学区域内にこの数年来小・中規模の住宅が新築されていて、入居者が増加していることによると思われます。</p>	素案は、児童・生徒数の推計を踏まえて作成しており、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、推計等もお示ししたいと考えております。
11	5	<p>・小規模校のデメリットだけを理由にしていますが、現在、小規模校の第3小学校・第9小学校の東大和市内の学校で担っている大切な役割は維持しなくてはならないのではないですか。それぞれ、学級数は9学級・8学級ですが、小規模校のメリットを生かしながら様々な工夫をしながら運営をしています。また特別支援教室を5学級・6学級開設しています。併せて14学級になります。第5中学校は8学級に支援学級6学級です。それぞれ様々な特別支援が必要な児童にクラスごとに支援がされています。文科省の「再配置方針」でも、小規模校のメリットも生</p>	「みんなの学校」の整備に当たっては、支援を必要とする児童・生徒への対応の視点を踏まえて検討してまいります。

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>かしながら、不足の部分は十分に補いながら進めていくことがあえて言われています。小規模校の話聞いて、小規模校への支援（もっと人を増やすとか）こそ必要ではないですか。</p>	
11	6	<p>・素案の第1中学校・第5中学校の統廃合について、今後の人口動静・児童生徒数の推定から考えて、第5中学校は生徒数が増加するのではないですか。新青梅街道北に中学校が1校ではあまりにも学区が広すぎて、生徒に通学の負担（時間、交通安全など）がかかりすぎます。生徒の負担を増やすことは、そのほかの活動の時間を削ることになり安全上も心配で、反対です。</p>	<p>現在も再配置後も、最大の通学距離は約2.5kmであり、通学には支障がないものと考えております。通学手段の考え方等につきましては、安全対策等を考慮しながら、今後検討してまいります。</p>
12	1	<p>少子化が進むので、学校統廃合・公共施設の再配置が必要だと素案では述べているが、東大和市として少子化対策をこれまでどのようにやってきたのか？また、これから将来どのようにしていくつもりなのか？の説明を最初にするべきである。これらの説明がないまま、自明の事のように少子化⇒学校統廃合の計画が提案されているのは納得がいかない。また、今後40年間かけて行う大規模な公的計画なので、児童生徒を含む市民の声を丁寧に取り入れていく必要があると思うが、その姿勢が全くみられない。超短期間のパブリックコメントで済ませようとしているのではないかと疑われても仕方がない。素案そのものも計画立案の根拠となるデータ（現在の小中学校の敷地面積や教室数、運動場・体育館の面積及び今後40年間の児童生徒数の推移予測など）が示されていないので検討の</p>	<p>少子高齢化への対応につきましては、これまでも総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・若者未来プラン等に基づき、施策を進めてきたところであり、これからも進めていくものであります。</p> <p>素案につきましては、大きな方向性をお示したところであります。今後、計画の内容を詰めていく中では、現状の面積と再配置後の面積等のデータ等もお示ししながら検討を進めていきたいと考えております。また、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、市民の皆様からご意見をいただく機会を設けることを予定しております。</p> <p>また、案を作成した段階では、改めてパブリックコメントを実施の上、策定をしたいと考えております。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>しようがない。学校をはじめとした公共施設の集約化のデメリットも市民に包み隠さずに説明すべきだと考える。その後パブリックコメントを実施するのが筋だと思う。</p>	
13	1	<p>① 今回の素案は公共施設として学校が主に書かれています。公共施設は多くの種類があります。公民館、博物館、市民センター、各種集会所、各種福祉施設などのその他の施設に対する計画はどうなっていますか？ これからの縮小する社会の中で、公共施設の老朽化対策は個別対策ではありません。市民生活と公共サービスを有機的につなぐ必要にある未来には総合的計画が求められています。今回の計画は学校の統合に重点が置かれ過ぎており、全体を俯瞰する計画になっていません。有機的なつながりサービスを実現するための施策方針を示してください</p>	<p>今回の素案では、大きな方向性として、学校を軸として、そこに周辺の公共施設をすべて集約し、地域の拠点となる複合施設「みんなの学校」を整備することとしております。</p> <p>このことにより、地域の大人が子どもを見守ることで、児童・生徒が安心して学べる環境とするとともに、様々な機能を併せて相互に連携することで、多世代交流が生まれる場としていきたいと考えております。また、学校教育活動で使用していない時間帯の学校の諸室等は、市民の皆様に活用いただけるようにするなど、より集いやすく便利な施設となるよう検討を進めていきたいと考えております。</p>
13	2	<p>② みんなの学校のコンセプトは共感できるものがありますが、その具体的な展開が安易に過ぎると考えます。40年スパンで考えるこれからの公共施設として考えるのであれば、20年後の姿、40年後の姿を示したうえでの提案にすべきです。20年後の子供の数に対して学校の数は多すぎないか？ 学校教育は団体の中で子供を育てることに意味が大きいので2-3クラス/学年を目指すべきで学校数を考えるべきです。通学の困難はスクールバスの充実と考えます。一方で高齢者の数は子供</p>	<p>素案では、市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本的な進め方や概略的な流れをお示したところであり、各施設の整備の時期等については、今後検討してまいります。</p> <p>小・中学校への通学手段の考え方等につきましては、安全対策等を考慮しながら、今後整理してまいります。</p> <p>また、施設のあり方や必要な諸室数等については、人口推計や児童・生徒数の推計に基づき、検討してまいります。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>以上であり、小学校の数を前提にするのでは十分でなくなる可能性が高いです。高齢者対応施設は学校だけでなく、公民館・市民センター・集会所などの市民に近い施設との複合化を柔軟に考える必要があります。計画では、20年後 40 年後の利用者数の推定値を示してください</p>	
13	3	<p>③この計画を進める体制ですが、40 年後を見据えて柔軟な発想、変化に柔軟に対応できる体制が必要です。この課題に対する専門家は必要ですが、過去や経験にとらわれない異見を大事にし、異能な市民を積極的に活用することが求められます。40 年後に明らかになる結果に対し、現在の組織と人間は結果を見ることもできず自分ごととして課題に対応できるかは難しいと考えられます。若い人、今日現在では学生（大学生・高校生）をメンバーに加えることを提案します</p>	<p>いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
13	4	<p>④みんなの学校の考え方は、保護を必要とする市民、子どもたちと高齢者を閉じ込める施設を充実させようとするものです。この結果は、昼の街には人がほとんどいなくなる街になる可能性が高くなります。IT の進化は市民の安全を守るための道具としての進化は大きなものがあります。ひとり遊びの子供、一人歩きに高齢者・障害者の安全を守る仕組みを構築し、まちの中に子供と高齢者が行きかう姿を作ることが可能になります。今日は無理でも未来の形を想像することで中長期的な計画の妥当性を高めることが可能になります</p>	<p>「みんなの学校」につきましては、「学校を中心として、周辺機能をすべて集約し、多世代交流等の地域拠点として整備する」ものであります。</p> <p>このことにより、地域の大人が子どもを見守ることで、児童・生徒が安心して学べる環境とするとともに、様々な機能を併せて相互に連携することで、多世代交流が生まれる場としていきたいと考えております。また、学校教育活動で使用していない時間帯の学校の諸室等は、市民の皆様に活用いただけるようにする等、より集いやすく便利な施設となるよう検討を進めていきたいと考えております。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
13	5	<p>⑤民間活力の活用が言及されていますが、具体策が見えません。40年の計で考えるのであれば全体像の中に加えてその未来の姿をまな板に載せるべきです。収益をベースに考える民間活力か、市民の活用、成長を考える民間活力かで方向は大きく変わります。市民の力を上手に活用する仕組みが重要です。東大和ではNPOの活動が低調であり、原因が市の姿勢か、市民の民度にあるのか不明ですが、原因を排除する必要があります。市民民活は市の状況を反映した活動を可能にし、全国一律の個性のない民活よりも市民を豊かにすると考えます。</p>	<p>素案では、市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本的な進め方や概略的な流れをお示したところであり、今後、計画の内容を詰めていく中では、民間活力導入による施設整備につきましても一定の内容をお示ししていきたいと考えております。</p>
13	6	<p>⑥計画の目的が、費用の圧縮に重点化されていませんか?? 市民の幸福を最大化する視点が表に見えません。市民の幸福は費用の掛かる面もありますが、費用、金だけが市民を幸せにするものではありません。やり方が、進め方が幸せを作ると言ってもいいと思います</p>	<p>素案は、今後の人口減少等を見据え、限られた財源の中で市民の皆様がより便利で魅力的に公共施設をご利用いただけるよう、今後の公共施設の基本的な考え方などをお示したものであります。</p> <p>今後、持続可能な行財政運営を進めていくためには、財政的な裏付けは必要であると考えております。</p>
14	1	<p>全体についての意見 データが無くてわからないところや現実無視或いは検討が欠落していることや急いで計画を作る必要性が分からないなど問題点が沢山あるので、「素案」を作り直して、もう一度パブリックコメントをやり直すべきである。</p>	<p>昨今の物価高騰や労務単価の上昇等により、公共施設の老朽化対策は全国的な課題となっております。このような状況にあっては、今後の物価の動向等も踏まえ、よりスピード感をもって計画を策定する必要があると考えております。</p> <p>また、素案では、市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本的な進め方や概略的な流れをお示したところであり、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、市</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
			<p>民の皆様からご意見をいただく機会を設けることを予定しております。</p>
14	2	<p>各所について 4 既存施設の改修・維持費用等について 金額等数字の内訳・根拠データがない。これでは、金額の妥当性については是非を判断することができない。</p>	<p>素案では、市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本的な進め方や概略的な流れをお示したところであり、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、費用の詳細等もお示したいと考えております。</p>
14	3	<p>5 再配置のコンセプトについて 「公共施設の老朽化対策のモデルとなるべく、、、他に類を見ない先駆的な再配置を行い、、、」のが目的であると書いてあるが、これはおかしい。東大和市の実情を踏まえた計画を検討するべきである。</p>	<p>公共施設の老朽化対策は全国的な課題である中、学校を複合化して地域の拠点とする取組は、他の自治体でも行われているところではありますが、市内全域で実施している自治体はないものと認識しております。市の将来を見据えた中で、課題解決に向け、誰も挑戦していないことに挑戦する意識を持って取り組んでまいります。</p>
14	4	<p>●みんなの学校 別紙1について この構想については、大きな問題があり、反対である。 「学校施設」と「その他公共施設」を集約・統合化して、日中：学校教育の場、放課後：放課後の居場所、夜間休日：地域活動の場、とすることは反対である。 地域活動は、午前、午後、夜間・休日を問わず行われている。公民館、集会所、図書館、老人福祉館等は、夜よりも午前、午後の利用が多いくらいである。午前・午後中心の学校教育とは両立しえない。 また、教室などを夜に地域活動(不特定の多数の人々が参加するもの)に使うと、学校教育用教材等の安全が保てない。音楽サークル、</p>	<p>素案でお示した「みんなの学校」につきましても、「学校を中心として、周辺機能をすべて集約し、多世代交流等の地域拠点として整備する」ものであります。みんなの学校の諸室をシミュレーションするに当たっては、学校施設として必要な諸室を想定した上で、それとは別にそこに集約する機能の諸室を想定しております。その上で、学校教育活動で使用していない時間帯の学校の諸室等は、市民の皆様にご利用いただけるようにする等、有効活用しながら、より集いやすく便利な施設となるよう検討を進めていきたいと考えております。 このことにより、教育環境が確保されることはもちろん、地域の大人が子どもを見守ることで、児童・生徒が安</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>音の出るサークル活動、講演会など不特定多数の集まる催し、など、様々な利用をするので、環境上、安全上、児童生徒の学習時間と共存することはもちろんできない。</p> <p>「みんなの学校 地域とともに豊かな学びを実現」について絵（ポンチ絵）が描かれているが、これでは中身が何もわからない。単に美辞麗句、うたい文句の羅列にしかっていない。</p>	<p>心して学べる環境とするとともに、様々な機能を併せて相互に連携することで、多世代交流が生まれる場としていきたいと考えております。</p>
14	5	<p>6, 再配置の素案（全体の方針）について</p> <p>（1）再配置案の全体像</p> <p>① 学校再配置及び別紙2 について、次の理由により反対である。</p> <p>小中学校の廃止、統合、再配置を必要だとする理由、バックデータが全く示されていない。地域ごとの住民の意見なども聞かれていない。</p> <p>加えて、40年もの間には、少人数学級が進展すると思われ、これが考慮されていない。国際的にも日本ほどの多人数学級は先進国にはない。</p> <p>また、7小・9小を統合して7小の場所に新校舎を建設するため多額の設計委託料を支払い、かつ、2度にわたり建設事業者入札に失敗した経緯がありながら、何の説明もなく変更してしまうのも、到底納得できるものではなく、その程度の施策に過ぎなかったということになる。</p> <p>要は、小中学校の廃止統合ありき</p>	<p>素案についての説明会は予定しておりませんが、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、市民の皆様からご意見をいただく機会を設けることを予定しております。</p> <p>素案では、シミュレーション段階であり、大きな方向性をお示したところでもありますので、計画を具体化していく中では、児童・生徒数の推計等もお示ししたいと考えております。</p> <p>なお、第七小学校・第九小学校統合新校につきましては、設計・施工一括発注に向け、プロポーザルを2度実施いたしました。不調となったところでもあります。従いまして、設計はまだ行っておりません。</p> <p>みんなの学校の諸室をシミュレーションするに当たっては、学校施設として必要な諸室を想定した上で、それとは別にそこに集約する機能の諸室を想定しております。その上で、学校教育活動で使用していない時間帯の学校の諸室等は、市民の皆様にご利用いただけるようにする等、有効活用しながら、より集いやすく便利な施設となるよう</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>の計画だということになる。</p> <p>② その他公共施設の集約について 学校を中心として公共施設を集約する「みんなの学校」については、上記のとおり反対である。 いずれにしても、公民館、集会所、児童館等の、個所数、広さなど現在の規模を縮小してはならない。 具体的な配置計画について、何をイメージしているのか、全くわからない。また、市民レベルの議論検討が必要である。 社会教育法に基づく公民館を廃止減少してはならない。公民館は、自主的市民活動をするために極めて重要な施設である。市民の文化教養のみならず、住民のコミュニケーションの確保、良い街づくり活動の活性化、健康維持等に必要である。単なる部屋貸しをする機能だけに堕してはならない。</p> <p>③ 庁舎と周辺施設及び別紙 3 について 中央公民館を廃止してはならない。公民館利用者連絡会、公民館運営審議会、など、多くの公民館活動の拠点として重要である。また、担当課長の配置など公民館行政の中心としても重要である。庁舎周辺に配置すべきである。</p> <p>その他について 市民が施設を利用し易い交通網の整備について、完全に欠落している。必要な交通手段の確保についても配慮、検討すべきである。</p>	<p>検討を進めていきたいと考えております。このことにより、教育環境が確保されることはもちろん、地域の大人が子どもを見守ることで、児童・生徒が安心して学べる環境とするとともに、様々な機能を併せて相互に連携することで、多世代交流が生まれる場としていきたいと考えております。</p> <p>みんなの学校には、自主的市民活動ができる機能を設置いたしますが、公民館のあり方については、多摩地域をはじめ他の自治体においても時代に即した対応が行われていることから、今後検討してまいります。</p> <p>また、みんなの学校へのアクセスの考え方等につきましては、まちづくりに関する計画等の検討状況などを加味し、安全対策等を考慮しながら、今後整理してまいります。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
14	6	<p>(2) 再配置に基づく財政フレームについて 建設費、財源構成について、施設別内訳などわかり易い内訳データを示していないので、妥当性がわからない。経常収支の不足額の内訳、算出根拠、基金への積立額の算出根拠など示していないので、妥当性がわからない。</p>	<p>素案では、市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本的な進め方や概略的な流れをお示したところであり、財政フレームにつきましては、今後、具体的に計画内容を固めていく段階でわかりやすい説明ができるよう努めてまいりたいと考えております。</p>
14	7	<p>(3) 民間活力導入による施設整備について まず施設整備の必要性、内容について十分検討してから、必要なものについてその整備を検討すべきである。初めから民間活力導入を前提にしているのは、本末転倒である。 学校プールは廃止するのか？記述されていないので分からないが、安易に廃止するのは反対である。</p>	<p>素案でお示した、屋内温水プールや図書館を核とした複合施設につきましては、当市の将来のため必要な施設と考えております。ただ、今後の学校施設の整備等に多額の費用がかかることから、民間資金を活用することによる整備を検討しているところであります。 また、新たに整備する屋内温水プールを学校プールとして活用することを考えていることから、今後新たに建設する学校につきましては、プールを設置しない方向で検討しております。</p>
14	8	<p>(4) 検討課題について 現時点で分からないことについて言及して既成事実を作るようなやり方、表現は、削除すべきである。市有地は貴重な市民の財産である。売却にこだわるべきではない。</p>	<p>素案でお示ししている財政フレームで今後の再配置を実施していくことは、財政的に大変厳しい状況でありますので、時代の変化に対応しながら、施設の利便性や魅力を高めつつコストを削減するため、更なる検討が必要であるとと考えております。 また、再配置による跡地を含めた市有地の利活用についてであります。今後の検討ではあります。売却だけでなく、貸付や官民連携等も視野に、様々な方法を検討してまいりたいと考えております。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
14	9	<p>7 今後の予定について</p> <p>40年もの先を見据えた計画を作るのは、たんに絵に描いた餅を作るの例えのようなものになるとか、後々の状況の変化に対応することを縛ってしまうとかの恐れがある。このような長期の計画を急いで作る必要性がわからない。</p> <p>いい町を作るためには、市民が関心を持ち、市民の声を十分に聴くことが一番大事なことであり、結論を急ぐ必要はない。専門家中心ではなく、市民意見を大切に方法、進め方にするべきである。</p>	<p>昨今の物価高騰等、先を見通しづらい時代だからこそ、スピード感を持った対応が必要であると考えております。なお、本計画については、策定後も、今後の社会状況等の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行いながら取り組んで行くこととしております。</p> <p>今回の素案につきましては、パブリックコメントを実施するとともに、学識経験者や関係団体、公募市民で構成する策定懇談会を開催するなど、様々な立場の方々からのご意見を伺っております。</p> <p>素案についての説明会は予定しておりませんが、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、市民の皆様からご意見をいただく機会を設けることを予定しております。</p>
15	1	<p>1. 市民への素案についての周知が不十分なまま計画を決めることについて。</p> <p>市報でお知らせしたからと言ってあの程度の内容のお知らせでは周知ということにはならないのではないのでしょうか。QRコードを開いて読んでも、とても内容がしっかりつかめるといほどの資料は見あたりません。たとえば、市民の関心の高い学校再配置のスケジュールではステップごとの設定時期がまったくわかりません。40年という超長期間の計画といえ、おおよその時期は示されるべきではありませんか。</p> <p>市民に対する説明会もなくあわてて40年もの超長期間の計画を決めなければならない必要性はどこにあるので</p>	<p>素案では、市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本的な進め方や概略的な流れをお示したところであり、各施設の整備の時期等については、今後検討してまいります。</p> <p>また、昨今の物価高騰等、先を見通しづらい時代だからこそ、スピード感を持った対応が必要であると考えております。なお、本計画については、策定後も、今後の社会状況等の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行いながら取り組んで行くこととしております。</p> <p>素案についての説明会は予定しておりませんが、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、市民の皆様からご意見をいただく機会を設けることを</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>すか。少なくとも市内5か所での素案の内容を市民がつかめるための説明会を開くことを求めます。</p>	<p>予定しております。</p>
15	2	<p>2. 学校再配置計画の基礎となる児童数の将来予測を提出すべきです。</p> <p>日本経済は大きく揺れ動いています。積極財政の行く末を論ずる経済学者の意見も多数出されています。現在、主に都心部での住宅価格や家賃の高騰により人口動態の変化も予測されていますが、これらが将来にもつなげる可能性も予測されています。将来児童数の予測も一例だけではなく、あらゆる経済動向の可能性も加味した予測を、率直に市民に提示すべきです。基本的な数値もないまま小中学校の統廃合はしかたがないと説得するのはあまりに乱暴です。</p>	<p>素案は、市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本的な進め方や概略的な流れをお示したところであり、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、児童・生徒数の推計等もお示ししたいと考えております。</p>
15	3	<p>3. 超長期計画に伴う様々な弊害が予測されます。</p> <p>この計画に従うとすれば実際に強い関係を持つ年齢層は今、小中学生のみなさんであり、その子どもたちになります。現在働き盛りの中堅層はこの世から居なくなるわけですから。しかし、今を生きている市民にも関係は大いにあるわけですから、その人たちの意見も十分聞かなければなりません。しかし、学校が減らされて遠い距離を登校するのは、まだこの世に生まれていない市民です。人間の感覚、感情からいってこのように今日現在とかけ離れた時代感覚の計画は、市民が論ずる対象にはそもそもなりにくいのではないのでしょうか。</p>	<p>今回の素案につきましては、パブリックコメントを実施するとともに、学識経験者や関係団体、公募市民で構成する策定懇談会を開催するなど、様々な立場の方々からのご意見を伺いながら検討しているところであり、必要なものと考えております。</p> <p>また、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、市民の皆様からご意見をいただく機会を設けることを予定しております。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
15	4	<p>4. 施設数を減らして経費を減らそうというのは文化の破壊につながります。</p> <p>40年もたてばAIによる経費削減の効果は計り知れないほど生み出されます。しかし、施設の代わりはAIにはできません。かなりの人口減少は予測されるとしても人間が移動する手段の向上は期待できません。運転はAI化しても運搬機器の設置には多額の予算を必要とし、市民が40年後にはみな富裕層になるのならばともかく、そんな期待は持てないことは当然ですから。</p> <p>40年後市内北部に3か所しかない公共施設に足を運んで、社会教育的文化活動に大勢の市民が参加することはかなり困難になると考えられます。</p>	<p>計画策定に当たりましては、より便利で魅力的な施設となるよう検討を進めてまいります。</p> <p>また、みんなの学校へのアクセスの考え方等につきましては、まちづくり関連計画等との整合を図りながら、今後整理してまいります。</p>
15	5	<p>5. 再配置計画策定懇談会の性格は市案賛成派だけに限られてしまう市言いなり組織になりかねません。あらかじめ市が提示した素案に賛成でなければ応募できない、あるいは応募してもはねられてしまうような委員募集は納得できません。まるで市の素案には問題がないといわんばかりを前提とするような組織に、最初から導いてしまうのは大いに疑問です。</p>	<p>公共施設再配置計画策定懇談会につきましては、市民委員を公募により募集し、選考を公正に行うため選考委員会を設置の上、応募者の作文を審査し、選定させていただいたものであります。</p>
16	1	<p>6 再配置の素案について(1ページ)</p> <p>(1) ③その他の公共施設</p> <p>学校を中心として周辺機能をすべて集約するとありますが、公民館については、これまで果たしてきた機能を踏まえて、その位置づけが損なわれぬよう十分な検討をお願いします。</p> <p>①社会教育法に基づく公民館の位置づ</p>	<p>みんなの学校には、自主的な市民活動ができる機能を設置いたしますが、公民館のあり方については、多摩地域をはじめ他の自治体においても時代に即した対応が行われていることから、今後検討してまいります。</p> <p>また、職員配置等の運営面については、機能面やコスト面等を総合的に勘</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>けを 公民館は社会教育法に定められた社会教育施設（機関）であり区域内の住民のために事業を実施することとされています。東大和市では昭和46年に公民館が開館後、豊かな公民館活動が実施されこれまで2度文部大臣表彰を受け、全国的にも優れた公民館であると評価されています。公民館活動の実績は市の財産であることを認識し、複合化にあたっては、①社会教育法に基づく公民館の位置づけを維持すること②公民館活動に必要な機能の整備や事業を行う職員を適切に配置することを希望します。</p>	<p>案し、適切な方法を検討してまいります。</p>
16	2	<p>②適切な地域配置を 公民館は（現行の）中学校区に1館+センター館の6館構想が社会教育委員会議で示されています。学校数を削減し周辺施設を集約すると、公民館数も減少することが考えられます。これからますます高齢化が進むことが想定され、歩いていける場所に公民館があることが重要となります。また災害時の防災拠点（避難所）としての機能も求められています。公民館は身近な地域の拠点施設です。適切な地域配置を望みます。</p>	<p>みんなの学校には、自主的な市民活動ができる機能を設置いたしますが、公民館のあり方については、多摩地域をはじめ他の自治体においても時代に即した対応が行われていることから、今後検討してまいります。</p>
16	3	<p>③公民館が学校教育の補完する場にならないように 素案では、文部科学省の「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」を踏まえ「みんなの学校」を整備するとしていますが、学校教育と社会教育は対等であり、社会教育施設が学校教育を補完するものであってはならない</p>	<p>今回、素案でお示した「みんなの学校」は、学校を軸として周辺の公共施設を複合化し、地域の拠点となる施設を整備するものであります。みんなの学校の諸室をシミュレーションするに当たっては、学校施設として必要な諸室を想定した上で、それとは別にそこに集約する機能の諸室を想定してお</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>と考えます。</p> <p>現在、中央教育審議会において「地域コミュニティの基盤を支える今後の社会教育の在り方と推進方策について」が検討されており、ここでは「チームとしての学校」の考え方が示されています。今後の答申の中で示される社会教育・公民館の役割も踏まえた「みんなの学校」の検討をお願いします。</p>	<p>ります。その上で、学校教育活動で使用していない時間帯の学校の諸室等は、市民の皆様に活用いただけるようにする等、有効活用しながら、より集いやすく便利な施設となるよう検討を進めていきたいと考えております。</p> <p>このことにより、教育環境が確保されることはもちろん、地域の大人が子どもを見守ることで、児童・生徒が安心して学べる環境とするとともに、様々な機能を併せて相互に連携することで、多世代交流が生まれる場としていきたいと考えております。</p>
16	4	<p>④民間活力の導入について</p> <p>複合化した施設の運営について、どの程度民間活力の導入を図るのかについては素案では明らかではありませんが、現在他市で進んでいる施設複合化では、指定管理者制度の導入が示されています。公民館等の社会教育施設に指定管理者制度を導入することは、事業の継続性や職員の身分保障等に多くの課題があり、安易に導入を図るべきではないと考えます。</p>	<p>職員配置等の運営面については、機能面やコスト面等を総合的に勘案し、適切な方法を検討してまいります。</p>
16	5	<p>⑤財政フレームに関連して</p> <p>施設再配置に伴い、公共施設使用料の検討がなされるものと思われます。この点についても素案では明らかではありませんが、同じく他市で進んでいる施設複合化では、使用料の有料化が検討されています。公民館条例では「社会教育法第20条以外の目的のために使用する場合は」使用料を徴収するとしており、法の目的に沿った利用は無料とすることが法の趣旨であります。市民の誰もが自由に施設を利用できる</p>	<p>使用料等のあり方については、東大和市第6次行政改革大綱等を踏まえ、検討してまいります。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		ためには無料であることが重要であり、他の市民センター等も同様に考えるべきです。	
16	6	⑥運営への市民参加 公民館では、公民館運営に市民の声が反映されるよう条例で公民館運営審議会設置が規定されており、その他、利用者連絡会や利用者懇談会により公民館運営に市民の声が反映されるしくみが設けられています。仮に施設が複合した場合でも、施設運営への市民参加のしくみが設けられることを望みます。	いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
16	7	3 検討組織 7 今後の予定について(1ページ) ①市民の声の反映 素案は庁内の関係者による組織で作成されたとの説明があります。そのため素案では、市民の声が十分に反映されていないと感じられます。一方、令和6年1月に7小と9小について「統合新校建設基本構想」が市民を交えた会議体で策定されています。今回の素案ではこの基本構想がどのように反映されているのでしょうか。素案についてのパブリックコメントをもとめるのであれば、素案についての市民説明会等を行う必要があると考えます。	素案は、第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想を包含する形で作成しております。統合新校の建設場所については、市内の全小・中学校の再配置を総合的に判断し、第五中学校とすることを検討しておりますが、新しい学校建設のコンセプトや各諸室及び施設の配置方針などの基本的な考え方については、素案にて踏襲しております。 また、素案についての説明会等は予定しておりませんが、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、市民の皆様からご意見をいただく機会を設けることを予定しております。
16	8	②計画づくりのプロセスについて 2月8日までのパブリックコメント、「公共施設再配置計画策定懇談会」の設置(公募委員の応募締切が1月16日)、6月議会、9月議会を経て来年3月に計画を策定するとされています。向こう40年間の計画を策定するにはあまりに期間が短いと感じます。丁寧	昨今の物価高等や労務単価の上昇等により、公共施設の老朽化対策は全国的な課題となっております。このような状況にあっては、今後の物価の動向等も踏まえ、よりスピード感をもって計画を策定する必要があると考えております。

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		な計画策定のプロセスが必要であると 考えます。	
16	9	<p>中央公民館解体・機能移転について(4ページ)</p> <p>現在の中央公民館はセンター館としての独自の機能を有しています。ホールや実習室等の他の施設では持ちえない機能があり、公民館事業でも障害者青年教室、遊空間、オータムフェスティバル等の全市的に行う事業を実施しています。他の複合施設に機能移転をする場合においても、現在の中央公民館が有する機能を損なわぬような施設整備を望みます。</p>	<p>中央公民館は、建物の老朽化が著しいため、まずは建物を解体することを検討しております。現行の諸室等の機能の移転については、今後検討してまいります。</p> <p>みんなの学校には、自主的な市民活動ができる機能を設置いたしますが、公民館のあり方については、多摩地域をはじめ他の自治体においても時代に即した対応が行われていることから、今後検討してまいります。</p>
17	1	<p>公共施設再配置計画に対するパブリックコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のプランを見て感じた事は、子ども達や地域住民に対する配慮に欠けているという事です。 ・学校は地域にとって大切なコミュニティの場でもあります。災害時に果たす役割も大きいと考えられます。学校がなくなった地域にとって、街の環境も大きく変わる事になります。 ・少子化ということで学校数を減らしていこうという国の方針が根底にあると思いますが、外国と比べても日本の一学級の人数は多すぎます。経済面の配慮は必要ですが、今後40年という大計画であるならばもっと慎重に考えていくべきだと思います。 ・40年という長期にわたる計画のため、当初の予算を大きく膨れ上がる事も考えられます。その際、創出された土地などを売却するという考えもあるようですが、市民のための土地は市民 	<p>昨今の物価高騰等、先を見通しづらい時代だからこそ、スピード感を持った対応が必要であると考えております。なお、本計画については、策定後も、今後の社会状況等の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行いながら取り組んで行くこととしております。</p> <p>今回の素案につきましては、パブリックコメントを実施するとともに、学識経験者や関係団体、公募市民で構成する策定懇談会を開催するなど、様々な立場の方々からのご意見を伺っております。</p> <p>今後、具体案を検討する過程においては、パブリックコメントのほか、市民の皆様からご意見を伺う場を設けること等も検討しているところであります。</p> <p>また、再配置による跡地を含めた市有地の利活用につきましては、今後の検討ではありますが、売却だけでなく、貸付や官民連携等も視野に、様々な方</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>のために役立てるという方針を極力堅持して欲しいと思います。</p> <p>・このような大事な計画を、1年ほどで決めるようですが、市民への説明など不十分です。じっくり時間をかけて市民の声を聞くべきだと思います。</p>	<p>法を検討してまいりたいと考えております。</p>
18	1	<p>①本計画は、学校施設の再編が主要なテーマであるにもかかわらず、市長部局による「財政健全化」の観点からの提言となっています。しかし学校施設関係といえども、教育環境・教育内容の観点から先ず提言されるべきものであり、教育関係の所管である教育委員会の見解が全く示されていません。これでは順番が逆転していると言わざるを得ません。</p> <p>先ずは、行政側の直接の当事者である教育委員会の見解を公表されることを要望します。</p>	<p>本素案につきましては、市長部局と教育委員会が一体となって検討をし、方向性をお示ししたものであります。</p>
18	2	<p>②小中学校の統廃合は地域住民の生活と利益に密着した課題です。統廃合に関して、地元住民の（形式的ではない）生の声を聞きとり調査したのでしょうか。</p> <p>また、子どもたちみんなにこの案を示し、その感想と意見を救い上げる努力はしたのでしょうか。2020年に制定された「東大和市子ども・子育て憲章」（本憲章は、けして十分とはいえない内容でしたが）では、「子どもに寄り添い、子どもの考え方をみとめる」と大人は宣言しています。</p> <p>聞き取り調査を実施したのであれば、その結果を、行っていないのであればその理由をお示しくください。</p>	<p>素案では、市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本的な進め方や概略的な流れをお示ししたところでありますことから、作成に際して聞き取り調査は実施しておりませんが、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、ご意見をいただく機会を設けることを予定しております。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
18	3	<p>③統廃合に関する試算は、その具体的な内容が示されています（ただし、個別の必要経費までは書かれていません）。しかし、「既存施設の改修維持費用」については総額が示されているだけになっています。統廃合も含め、個別の施設ごとの改修費用とその内容についてもお知らせください。</p> <p>これらが具体的に示されない限り、統廃合の是非に対する判断はしかねます。</p>	<p>素案では、市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本的な進め方や概略的な流れをお示ししたところであり、財政フレームにつきましても、今後、具体的に計画内容を固めていく段階でわかりやすい説明ができるよう努めてまいりたいと考えております。</p>
18	4	<p>④「みんなの学校」と称する、学校施設への公共施設の集約化については、基本的に反対です。公民館を主体とする社会教育活動は平日の日中も行われており、平日の夜間と休日だけに限るものではありません。これは明らかに社会教育活動の後退と言わざるを得ないものです。</p> <p>また、学童保育や児童館など、児童福祉関係の活動も、学校の放課後に限定して行われるものではありません。職員は子どもたちに直接接していない時でも、その準備や家庭との連絡、打ち合わせという業務を抱えています。これらを学校という一つの空間で、しかも時間を限って行うことは不可能です。</p> <p>さらに、学校での教育活動についても同じことが言えます。教職員は子どもたちの学習指導していない時にも、教材準備・指導内容の評価・職員打合せなどを行っているのです。放課後に子どもたちと遊んだり、個別の相談にのったりということも必要です。これを放課後は児童福祉の活動に明け渡すな</p>	<p>今回、素案でお示しした「みんなの学校」は、学校を軸として周辺の公共施設を複合化し、地域の拠点となる施設を整備するものであります。みんなの学校の諸室をシミュレーションするに当たっては、学校施設として必要な諸室を想定した上で、それとは別にそこに集約する機能の諸室を想定しております。その上で、学校教育活動で使用していない時間帯の学校の諸室等は、市民の皆様に活用いただけるようにする等、有効活用しながら、より集いやすく便利な施設となるよう検討を進めていきたいと考えております。</p> <p>このことにより、教育環境が確保されることはもちろん、地域の大人が子どもを見守ることで、児童・生徒が安心して学べる環境とするとともに、様々な機能を併せて相互に連携することで、多世代交流が生まれる場としていきたいと考えております。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>どということはありません。学校施設の3分割活用という計画は、学校教育・児童福祉・社会教育すべての削減にいたる受け入れがたい発想です。“他に類を見ない”3者総倒れの妄想と言わねばなりません。</p>	
18	5	<p>⑤本計画は国や都の財政出を前提としているのでしょうか。もしそのような者があるならば具体的にお示しください。「素案」では「文部科学省が推進する『新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方』を踏まえ、他に類を見ない先駆的な再配置を行い、持続可能な行財政運営と魅力的かつ豊かな東大和ライフを実現する。」とありますが、財政的な補助については触れられていません。</p>	<p>素案での財政フレームの試算においては、現行制度に基づき、公立学校施設整備費負担金、学校施設環境改善交付金といった国庫補助事業の活用や学校施設等整備事業債、公共施設等適正管理推進事業債といった地方債の活用を見込んでおります。</p>
18	6	<p>⑥市庁舎のある敷地内を再配備する計画があるようですが、市財政逼迫を言いながら「室内温水プール」など作る必要があるのでしょうか。その一方で中央公民館を解体することも書かれています。むしろ中央公民館を建替えるなり、大規模改修するなりをして存続させることの方が市民にとって必要です。</p>	<p>屋内温水プールの整備は必要なものと考えております。新たに整備する屋内温水プールを学校プールとして活用することを考えていることから、今後新たに建設する学校につきましては、プールを設置しない方向で検討しております。</p> <p>また、中央公民館は、建物の老朽化が著しいため、まずは建物を解体することとしております。現行の公民館の諸室等の機能の移転については、今後検討してまいります。</p>
19	1	<p>①こんなに大きな計画を市民に説明することもなく、進めようとしていることに非常に不信感を持ちます。パブリックコメントを読んで、市民の声を聞いたことにはしないで下さい。きちんと、何ヶ所、何回かに分けて、説明会をするべきだと思います。</p>	<p>素案についての説明会は予定しておりませんが、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、市民の皆様からご意見をいただく機会を設けることを予定しております。</p> <p>素案では、市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>②学校統廃合が中心になるようですが、学校統廃合は慎重に計画した方がよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に児童数は減っているが、急に、大きなマンションや住宅が建って、その地域の児童数が予定していた以上に増える場合もある。 ・東大和市は、“住みよい町”のイメージで上位の方にあり、微妙に人口増もあり、必ずしも、児童数が計画どおりに推移しないことも考えられる。 	<p>的な進め方や概略的な流れをお示したところであり、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、児童・生徒数の推計等もお示ししたいと考えております。</p> <p>なお、本計画については、策定後も、今後の社会状況等の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行いながら取り組んで行くこととしております。</p>
20	1	<p>東大和市公共施設再配置計画（素案）について。パブリックコメント提出の件。</p> <p>素案はあまりにも粗案すぎる。市の考えの表明ということも考慮しても。公共施設の集約や統廃合の必要性の是非が判断できる内容ではない。（疑問点や分からない事が多すぎる）</p> <p>策定理由は。厳しい財政状況、物価高、人件費の高騰、人口減少、少子高齢化とある。これは極めて概念的な理由。市には地理的特色があり個性がある。概念的な理由の提示ではなく、市の統廃合の根拠となる最低限のデータ等を提示すべき。</p> <p>そのうえで市民の意見を求めるよう。要望します。</p>	<p>素案では、市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本的な進め方や概略的な流れをお示したところであり、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、児童・生徒数の推計等もお示ししたいと考えております。</p>
20	2	<p>疑問点や分からないことの代表的なものを2つあげます。</p> <p>1, 別紙2 学校再配置のスケジュール</p> <p>具体的な時間軸が無い。財政フレームの図との対応も不明。今進めてい</p>	<p>素案では市全体の公共施設の再配置に向けた基本的な方針として、基本的な進め方や概略的な流れをお示したところであり、各施設の整備の時期等については、今後検討してまいります。今後、具体的に計画内容を固めていく</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>る第七小に新校舎建設は中止となったのか。</p> <p>資料には説明がない。</p> <p>今進めている事業が、この案では優先順位が後退。</p> <p>こんな杜撰な考えで統廃合を進めているとしたら大きな疑問がある。</p> <p>更に細かい点にふれば、今までに発生した設計費用はどうなるのか。また、5中も市のハザードマップで浸水・土砂災害地域に指定。</p> <p>7小同様に建設コストが嵩むのでは。なぜ5中の敷地にするのか。</p>	<p>段階で、整備時期等についてもお示ししたいと考えております。</p> <p>今回、第七小学校と第九小学校も含め、改めてシミュレーションを行っております。第五中学校敷地への建設とすることで仮校舎の設置が不要になる等、総合的に勘案した案であります。なお、第五中学校敷地は、市のハザードマップにおいて浸水・土砂災害区域に指定しておりません。</p> <p>第七小学校・第九小学校統合新校につきましては、これまで設計・施工一括発注に向け、プロポーザルを2度実施いたしました。不調となったところであり、従いまして、設計はまだ行っておりません。</p>
20	3	<p>2, 別紙3 健康・福祉・子育て支援の拠点施設整備</p> <p>新たな拠点施設は20年間の使用。簡易的な建物としコストを抑える。庁舎は当面20年間活用。</p> <p>とあるが、この費用は財政フレームに含まれているのか。</p> <p>なぜ20年間なのか。判断不能。</p> <p>庁舎を含む建て替えであれば、東京都の空き地等の活用がコスト的に最適かも。</p> <p>上記以外にも疑問点が多々あるが。最後に触れたいのは、この素案に防災機能が書かれていないこと。</p> <p>今、今後の市民生活の大きなテーマであることを申し伝えておきます。</p>	<p>健康・福祉・子育て支援の拠点施設の整備に要する費用は財政フレームに含まれており、20年という使用年数は、本庁舎の残りの耐用年数と整合させることにより、その後の一体的な整備を見据えて検討したものであります。</p> <p>また、「みんなの学校」は地域の避難所等としての役割を果たせるよう、防災機能等の視点も踏まえて検討を進めてまいります。</p>
21	1	<p>市が掲げる「みんなの学校」は、学校を地域に開き、多世代が利用することを想定しています。しかし、現状の計</p>	<p>素案では、みんなの学校における「地域、家庭、学校の連携による学びの充実」などをお示したところであり、</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>画説明では、「時間軸をずらした利用（児童の利用時間と地域利用の分離）」が前提となっているように見えます。このような運用になれば、実際には世代間が「すれ違うだけ」の施設になってしまいます。</p> <p>本来の多世代交流とは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが高齢者から知恵や経験を学ぶ ・ 高齢者が子どもと関わる中で役割や生きがいを得る（生きる意欲につながる） <p>といった相互作用によって成立するものです。</p> <p>単なる施設の時間貸しではなく、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業と地域活動が交差するプログラム ・ 高齢者が教育や地域活動に自然に関われる仕組みを建物計画と同時に設計する必要があるのではないのでしょうか。 	<p>学校教育と社会教育の双方の視点で検討しています。</p> <p>みんなの学校は、学校に集約する施設においても、必要な諸室を想定しております。それに加えて学校教育活動で使用しない時間帯の学校の諸室についても、市民の皆様に活用していただけるようにすることで、より便利で魅力的な施設としていきたいと考えております。</p> <p>施設の管理運営等に関するご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
22	1	<p>* 1月の市報に掲載された説明だけでは再配置計画の全容がつかみにくく、詳細はQRコードを読み取って見てください、というのは不親切だと思いました。スマホやパソコンを使えない人への配慮が欠けているのではないのでしょうか？市民に対する丁寧な説明が欲しいと思います。</p> <p>* 学校の統廃合、公共施設の集約で「活気ある学校を維持する」「子どもから高齢者までが安心して過ごすことができる」とありますが、学校が遠くなる児童・生徒の通学の足は？公民館や市民センターが遠くなり利用しにくくなる方の利用のための足は？子どもが少な</p>	<p>素案についての説明会は予定しておりませんが、今後、具体的に計画内容を固めていく段階で、市民の皆様からご意見をいただく機会を設けることを予定しております。</p> <p>みんなの学校への通学手段やアクセスの考え方等につきましては、安全対策等を考慮しながら、今後整理してまいります。</p>

提出者	番号	意見の内容	市の考え方
		<p>るなる⇒学校統廃合でいいの？ 25人学級、30人学級にしてゆとりある教育ができると思いますし、災害時の避難場所として近くの学校を残してほしい等々、いろいろ伺いたいことがあります。</p> <p>今後の予定として 9月：再配置計画（案）を公表し、案に対するパブリックコメントの実施とありますが、 是非、市民に対して「説明会を開く」など「丁寧な説明」をしてください。</p>	